

コラム執筆四半世紀 西日本有数の進学校 愛光中学・高校校長の「チュータ」先生が伝えたいこと

徳性の教育 触れてほしい 教員の一言重みを実感

「教員の一言が生徒を励ましたり、ひいては生徒を救うことになる」。西日本有数の進学校、愛光中学・高校（松山市）校長の中村道郎さん（79）が執筆しているウェブコラム「チュータのひとりごと」。学校での出来事や生徒との思い出などをホームページ（HP）上につづり、2000年の掲載開始から四半世紀を超えました。その数は820回以上に達します。男子校だった愛光中学・高校は02年度に共学になり、進学面では医学部志望者が増加するなど、この25年で環境も大きく変わりました。どんな思いを抱いて発信を続けているのか、「チュータ」先生こと、中村さんにインタビューしました。

（原田茜）

「コラム初回は2000年10月22日にさかのぼります。生徒と二人でいろいろな英語を当てはめてみたが、どうもしっくりこない。そうこうしているうちに、時間ばかりが経過し、頭を抱えてしまった。おおよそ500字で紹介するのは、海外からの訪問者に学校創立の理念をどう英訳するかを、生徒とともに考えたというエピソード。率直な言葉が並びます。」

当初のコラム名は「教務のひとりごと」。教務主任だった中村さんが始めました。コラムに先立って、生徒の普段の様子を写真付きで紹介する「日誌」もHPに公開。「学校の状態は日誌で伝えられるので、建学の精神や学校がどういう方向に進んでいるかといったことをひとりごとで書いてはどうか」と思いました。

学校HPでの積極的な発信は当時は珍しかったため「他校の先生から『どういついつにしているの？』とよく聞かれました」。コラムは04年度に現在の名前に変更。教頭を務めていた1年余りを除き、原則として毎週日曜に配信してきました。



「ここで気になるのが、『チュータ』ではないでしょうか。チュータは中村さんのニックネーム。由来には実は二つの説があると教えてくれました。「教員になったばかりの前任校で中学2年の女子生徒がつけてくれました。私が動き回るタイプなので、ネズミにちなんでいるとか。もう一つ

が、中村の中を音読みしたという説です。『チュータ』を本当の名前だと思った保護者から『中村忠太先生』と書かれた手紙が届いたこともありましたね。良いニックネームだと思っています」と目を細めます。

1回のコラムは文字数を決めておらず、長ければ1700字にも及びます。共学になった02年度の入学式で、男子と女子の輝くような表情に新しい風を感じたこと。あいさつをする大切さを学んだ小中学生時代の新聞配達経験。登校中に事故で亡くなった生徒への追悼……。内容は多岐にわたります。

年間30回以上更新し、最新回（26年3月15日）は828回を数えます。「まずタイトルを決めてから書いていくん

ですが、タイトルが決まると自然に文章が出てきます。書き始めるとそんなに時間はかからないですね。何か思い付いたときにメモを書くようにしています」と笑顔を見せます。



特に印象深いのは、生徒との信頼関係をどう築くかを示す、数々の体験談です。00年

11月12日掲載の「一杯のみそラーメン」は、担任の中村さんに「相談がある」と心配そうに打ち明けた中学生を、土曜日の午後1時にラーメン店へ連れて行ったと紹介。「店に入っても、別に彼の『相談』はない。店の中でも、学校での面白い話や、楽しい話が続いた。結局、ラーメンがおいしかったということ、彼との話は終わった。その後、彼の表情から心配そうな様子は、全く消えてしまった。食事を通して、生徒と心を通わせた思い出をつづります。

別の生徒のエピソードでは、教員がかかる言葉の大切さを説きます。愛光高校から東京大学文科3類に進学したその生徒は、大学卒業後の進路選択の際に「チュータ先生が中1の面談で、法学の道に進むといいと言ってくれた」ことを思い出し、法科大学院へ。現在、大学の法学部教授として活躍しているといいます。

「信頼関係を築くためにも、日ごろから生徒に声をかけておかなければいけません。ポ

イッシュワールと言っています。『君は大切にされているんだよ』というメッセージを送るわけです。何げない一言が生徒の人生を変えることはよくあるので、教員にはとても大切な役割があるのだと感じます」と力を込めます。

「チュータのひとりごと」を読んだ保護者からは「あの記事が良かった」「校長先生の考え方に賛同します」といった反響が寄せられることもあるそうです。卒業式の式辞の一部を取り上げた24年2月4日の配信では、哲学者・芳村思風の言葉を引用しながら「誠実、謙虚であることを忘れて、傲慢（ごうまん）になっ

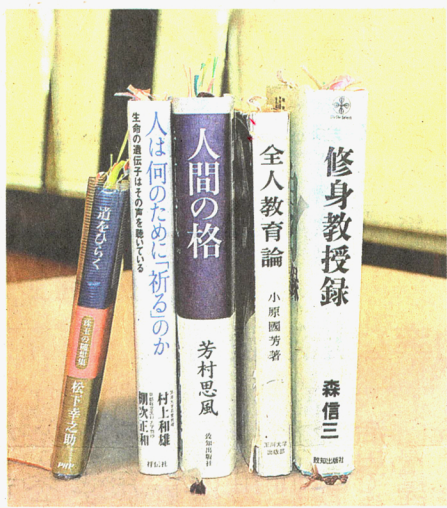
てはいけません。結局のところ、人間を滅ぼすのは傲慢である（略）皆さんが誠実で謙虚であることを願っています」と記しました。



四半世紀以上、ウェブコラムの執筆を続けている愛光中学・高校校長の中村さん



校長室でコラムを執筆している



たくさん付箋を貼り付けた本

なかむら・みちろう 1947年生まれ。松山市興居島出身。松山北高校、玉川大文学部英米文学科卒業後、69年玉川学園中学部（東京都）に英語教員として勤務。高等部を経て、77年に愛光中学・高校へ。2006年教頭に就任。07年8月から現職。

（3月30日愛媛新聞ONLINE掲載）